

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習Ⅱ		実習	田中 義之・平口 昌広・菊森 清美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
400 時間 （ 10 単位）		回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
(1)学校で学んだ基礎医学、臨床医学、聴覚言語障害学関連の評価方法、治療・訓練方法等に基づいて、臨床の場で実践し、態度・知識や技術を習得する機会をもつ。(2)学習した理論・方法について、実際にケースのニーズに結びつけ、理論と実際との差を認識しながら、どのように問題解決を図るかを学び、言語聴覚士としての能力を総合的に養う期間とする。(3)リハビリテーションスタッフとしての立場を自覚し、チームアプローチのあり方を把握することにより、人間性豊かな言語聴覚士としての資質を高めていく。				
授業の到達目標				
実習指導者の指導、助言を受けながら対象者の状態像を把握し、評価できる。 言語治療（訓練・指導・支援）計画を実習指導者の指導、助言を受けながら立案し、機会があれば実際の訓練場面を経験する。 経験した評価、訓練を通して得た知識をまとめて、伝えることができる。				
授業計画				
回	内容			
	実習オリエンテーション			
	臨床実習第Ⅰ期 病院等医療関係施設（320時間）又は医療福祉教育関係施設（160時間）			
	臨床実習第Ⅱ期 医療福祉教育関係施設（160時間）又は病院等医療関係施設（320時間）			
	臨床実習振り返り（個別フィードバック）			
	症例検討会			